現況についての参考資料

0	未統	合	記	録	(5	, () (9 5	5 7	万 作	牛)	(り	犬え	兄。	<u> 고</u>	今後	色の	у К	讨万	<u>;</u>	•	1	5
0	未統	合	記	録	の	基	礎	年	金	番	号	^	の	統	合	の	推	移	•	•	•	•	•	1	6
0	未統	合	記	録	の	分	析	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	7
0	コン	゚ピ	ュ	_	タ	記	録	لح	紙	台	帳	等	لح	の	関	係	•	•	•	•	•	•	•	2	4
0	紙台	帳	等	لح	⊐	ン	Ľ	ュ	_	タ	記	録	の	突	合	せ	事	業	の						
	実施	件	数	•	通	知	件	数	の	推	移	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2	5
0	被保	験	者	記	録	لح	厚	生	年	金	基	金	記	録	لح	の	突	合	せ	に					
	関す	る	実	施	状	況	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2	8
0	年金	記	録	問	題	に	係	る	経	費	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	3	C

未統合記録(5,095万件)の状況と今後の対応

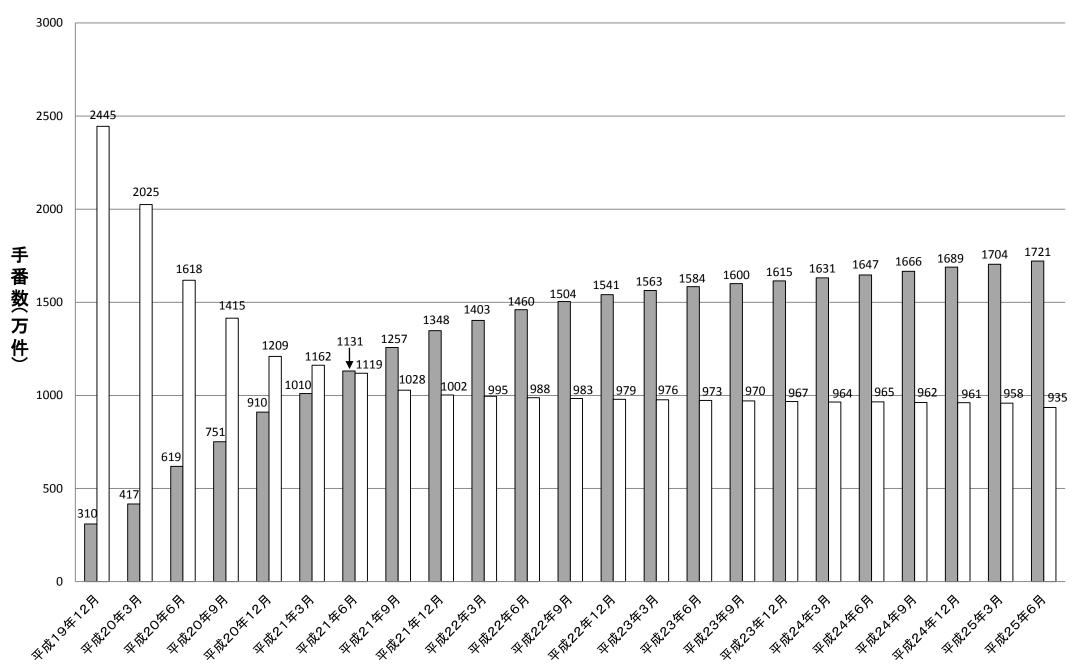
〈平成25年6月時点〉 人数ベース 1,346万人 基礎年金番号に統合済みの記録 〈解明された 674万人 1.721万件 受給者 記録〉 被保険者等 672万人 ② 死亡者等の記録 1.240万件 2.961万件 ア. 死亡したと判断される者の記録 684万件 イ. 脱退手当金受給済み等の記録 557万件 ん きん ネッ 用いた持ち主検索作業(23年日本年金機構における紙台帳 現在調査中の記録 4万件 直近の住基情報と突合の上、再送付・10年未満の記録についても黄色便・10年未満の記録についても黄色便 (ご本人からの回答に基づき日本年金機構で記録を調査中) 年2月~ で の 〈解明作業中 名寄せ特別便等の対象となったが、未回答等の 検 ため持ち主が判明していない記録 874万件 又はなお解明 索 ・ご本人から未回答のもの 324万件 ・「自分のものではない」と回答のあったもの 198万件 を要する記録〉 25 未着のもの 54万件 紙台帳検索システ 年 ・その他(注1) 299万件 ⑤ 持ち主の手がかりが未だ得られて 935万件 8月 月 いない記録 末 2. 134万件 死亡していると考えられるもの 国外に転居していると考えられるもの ・届出誤り(誤った氏名・生年月日)により収録されたもの 等人 ムを (6) (3)~(5)の記録と同一人と思われる記録 (注2)

※端数処理の関係上、各項目の合計と未統合記録との間に差が生じる場合がある。
(注1)「その他」は、「「訂正がある」との回答だったが、調査の結果ご本人のものではなかったもの」、「基礎年金番号のある記録と名寄せされたが、その記録が対象記録と期間重複があり特別便の対象からはずれたもの」、「黄色便の送付対象として氏名等の補正を行ったが、基礎年金番号のある記録と名寄せされず、黄色便が送付されなかったもの」等
(注2)⑥は、③~⑤の記録と氏名、生年月日、性別の3項目が一致した記録

未統合記録の基礎年金番号への統合の推移

■基礎年金番号に統合済みの記録

□持ち主の手がかりが未だ得られていない記録



未統合記録(5,095万件)の分析

1 統合された記録の分析

- 〇 平成22年4月2日から平成24年3月23日までに公表した「年金額回復の具体的事例(1,000事例)」(※)について、 統合時における記録の状態やご本人の記録として判明した契機について分析を行った。
 - ※毎週の年金記録回復による年金額の増額上位10事例を集計したもの。

① 記録の状態

転職などによる複数手帳保有者	837件	36.1%
旧姓名	719件	31.0%
氏名(読み仮名)相違	476件	20.5%
生年月日相違	217件	9.3%
報酬相違	33件	1.4%
加入期間相違	16件	0.7%
総務大臣(第三者委員会)あっせん	15件	0.6%
年金事務所段階における回復基準	8件	0.3%
計		2,321件

② 判明した契機

ねんきん特別便(※)	870件	37.5%
年金相談	632件	27.2%
受給者便	350件	15.1%
黄色便	348件	15.0%
グレー便	93件	4.0%
第三者委員会あっせん	15件	0.7%
紙台帳便	8件	0.3%
定期便	5件	0.2%
計		2,321件

※うち、名寄せ便を契機とする事例が355件(15.3%)

2「これまでに統合された記録」と「なお未統合になっている記録」の比較

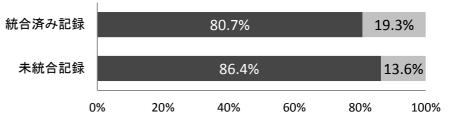
○平成18年6月時点で5,095万件存在していた未統合記録のうち、「平成25年6月までに基礎年金番号に 統合済みの記録(1,721万件)」と「解明作業中又はなお解明を要する記録(2,134万件)」に関し、①記録の種類、②現在の年齢、③加入期間、④記録の開始時期 について比較を行った。

(記録の種類)

○未統合記録に比べ、統合済み記録に占める国民年金記録の割合が高い。

	厚生年金• 船員保険	国民年金				
統合済み記録	13,893,088	3,314,195				
割合	80.7%	19.3%				
未統合記録	18,430,531	2,909,208				
割合	86.4%	13.6%				

■厚生年金・船員保険 ■国民年金



(年齢)

○年齢の低い者の記録の統合が進んでいる一方で、年齢の高い者の記録が なお未統合となっている。

	40歳 未満	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳 以上	年齡不明
統合済み記録	356,449	2,827,073	3,401,240	6,999,659	2,349,480	966,393	200,692	49,554	56,743
割合	2.1%	16.4%	19.8%	40.7%	13.7%	5.6%	1.2%	0.3%	0.3%
未統合記録	331,192	1,990,996	2,639,259	4,599,544	5,510,998	3,293,197	1,691,982	1,275,811	6,760
割合	1.6%	9.3%	12.4%	21.6%	25.8%	15.4%	7.9%	6.0%	0.0%

※平成25年6月時点

